

まちの日記帳



積丹の体験型観光をPR
増加傾向の外国人観光客を誘致

11/26



北海道での体験型観光の振興を図るため、北海道と北海道観光振興機構が共催する商談会が開催され、積丹観光振興公社が参加し、観光事業者と旅行会社の合計112社が集まるなか、積丹町体験型観光をPRしました。

今回商談会に参加した52の旅行会社のうち17社が外国人向けツアーを扱っており、近年増加傾向にある外国人観光客の確保のため積極的な誘致が期待されています。

平成22年度の水中展望船の乗船客は過去最多となる3万5,515人を記録。地道なPRが利用者の増加につながっています。

北後志の交流の機会に
身体障害者福祉協会
北後志スロック研修会

11/26



後志支庁地区身体障害者福祉協会が主催する平成22年度北後志ブロック研修会が総合文化センターで行われ、北後志管内から92人が参加しました。

この研修会は、毎年会員の親睦を深め、明るい社会生活の推進を目的に開催されています。

「北しりべし相談支援センターの役割について」と題した北しりべし相談支援センター安田亜子氏の講演や、美国婦人会の踊りや、参加者のカラオケの披露などが行われ、参加者は交流のひと時を楽しみました。

介護についての理解を深めるやさしい介護教室
12/4



住民福祉課と町社会福祉協議会が共催するやさしい介護教室が総合文化センターで行われ、28人が参加しました。

高齢化率の上昇につれ、増えることが予想される悪徳商法などによる被害に備え、日常生活の自立支援に関する制度や成年後見人制度などについて学習を深めました。

聞きなれない言葉も多いなか、参加者は真剣にメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

元気いっぱい
びくに・みなど保育所で
生活発表会

11/28・12/12



第33回びくに保育所、第16回みなど保育所の生活発表会がそれぞれ行われました。

園児の開会のことばで始まった発表会は、工夫を凝らした劇や遊戯、手遊びなど小さな体をいっぱいの笑顔で表現し、かわいい衣装がより一層会場を盛り上げました。

成長した我が子の姿を見ようと会場いっぱいに詰めかけた家族からは一幕ごとに大きな拍手と声援が送られていました。



勝利へアタック
第18回B&G財団会長杯
ソフトバレーボール大会

12/3



優勝 積丹Cチーム

第18回B&G財団会長杯ソフトバレーボール大会がB&G海洋センターで行われました。
生涯スポーツの一環として健康づくりや仲間づくりを目的に実施されたこの大会には、古平町からの参加を含む13チーム58人（男女混合9チーム42人、女子の部4チーム16人）の参加選手や見学者など合計100人が超える人が集まり熱気に包まれました。

大会の結果は次のとおりです。
(各部優勝のみ)

[男女混合の部]
優勝 ひらり

[女子の部]
優勝 積丹Cチーム

いつまでもお元気で
アメリカ婦人会がやすらぎ慰問

12/6・8



アメリカ婦人会(戸来和子会長)は、2日間の日程でやすらぎを慰問し、施設利用者に歌や踊りを披露しました。

この慰問は平成8年度から毎年実施され、今年15回目を迎えました。

「田んない千鳥」や「流恋草」などの舞踊や歌が20分間で合計21演目披露され、利用者からは笑顔で温かい拍手が送られました。

戸来会長は、「毎年やすらぎ利用者の皆さんのがこの慰問を楽しみにしてくださっているので、15回も続けられたと思います。」と話してくれました。

**自分のペースに合わせて
簡単運動
いきいきクラブ**

12/10



住民福祉課が主催する膝や腰の痛みに不安を抱える方のための簡単な運動を紹介するいきいきクラブが行われ、16人が参加しました。

今回の教室は、健康運動指導士渡辺智弘氏を講師に招き、姿勢が崩れることで生活にどのような影響があるかなど具体的な例をあげながら、わかりやすく解説した講演や実技が行われました。

戸来会長は、「毎年やすらぎ利用者の皆さんのがこの慰問を楽しみにしてくださっているので、15回も続けられたと思います。」と話してくれました。



教育委員会が主催する第2回市民文化教室「しめ飾り教室」が文化センターで開催されました。

お正月を間近に控えたこの日、新年を手づくりのしめ飾りで迎えようと11人が参加。講師の佐々木憲枝さん（美國町）と嶋田敏子さん（美國町）の丁寧な指導のもと参加者は真剣にしめ飾りづくりに取り組みました。

「毎年この教室に参加して自分で作ったしめ飾りで新年を迎えています。」という人もいるなど、すっかり地域に定着した教室となっています。

自作の「しめ飾り」でお正月
第2回市民文化教室

12/17